



洞爺湖町

議会だより



- 12月・1月会議 議案審議 2
- 一般質問・10名 3～12
- 委員会活動レポート 13～14
- 町民と議員との懇談会・議会のうごき 15
- 東京あぶた・とうや湖会報告
・表紙絵作者紹介・編集後記等 16

No.35

12月・1月
会 議

2015.2

平成26年 12月
平成27年 1月

会 議

平成26年

12月会議

(12月16日～18日開会)

12月会議が12月16日から18日まで開会され、補正予算専決処分の報告、条例の制定・一部改正、規約の一部変更、指定管理者の指定、補正予算など、町から提出の報告1件、議案25件を原案通り可決しました。

また、10人の議員が一般質問を行いました。

「主な議案の審議内容」

報 告

○専決処分

・一般会計補正予算
衆議院議員選挙経費として、652万円を増額。

○条例の制定・一部改正

○「洞爺湖町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業

の運営に関する基準を定める

条例」「洞爺湖町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」「洞爺湖町保育の必要性の認定等に関する基準を定める条例」「洞爺湖町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」の制定

国の「子ども・子育て支援新制度」に基づく条例の制定。

○洞爺湖町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

期末手当支給割合の改正。

○洞爺湖町特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正

期末手当支給割合の改正。
○洞爺湖町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正

期末手当支給割合の改正。
○洞爺湖町職員の給与に関する条例の一部改正

給料表、通勤手当、勤勉手当支給割合の改正。

規約の一部変更

○西胆振介護認定審査会共同設置規約の一部変更

西胆振3町が共同で設置している審査会の執務場所等の変更に伴う規約の一部変更。

○西胆振障害者自立支援審査会共同設置規約の一部変更

西胆振3町が共同で設置している審査会の執務場所等の変更に伴う規約の一部変更。

指定管理者の指定

○洞爺湖町営バス

指定管理者 有限会社洞爺運輸

指定期間 平成27年4月1日から平成30年3月31日まで

○洞爺湖町歴史公園夕日ヶ丘パークゴルフ場

指定管理者 株式会社グリーンステイ洞爺湖

指定期間 平成27年4月1日から平成32年3月31日まで

○洞爺湖森林博物館

指定管理者 有限会社洞爺湖汽船商事

指定期間 平成27年4月1日から平成32年3月31日まで

○洞爺水辺の里財田キャンプ場

指定管理者 洞爺産業株式会社

指定期間 平成27年4月1

日から平成30年3月31日まで

○洞爺いこいの家

指定管理者 洞爺産業株式会社

指定期間 平成27年4月1

日から平成30年3月31日まで

○公共下水道根幹的施設の建設工事（虻田下水終末処理場改築更新工事）

金額及び工期の変更

補正予算

○一般会計

歳入歳出をそれぞれ6、918万円増額。主に北海道知事・北海道議会議員選挙経費、心身障害者自立支援給付費・

自立支援更生医療給付費、後期高齢者医療療養給付費負担

金、アイアンマンジャパン北海道大会補助金、観光情報セ

ンター改修事業、海岸通り街路事業、耐震診断補助事業な

どによる増額補正。

○国民健康保険特別会計

人件費及び委託料による77万円の増額と予備費77万円の減額。

○公共下水道事業特別会計

下水道終末処理場設備工事委託料の減額などによる、882万円の減額補正。

○介護保険特別会計

地域介護・福祉空間整備等施設整備補助事業などによる、1、251万円の増額補正。

○簡易水道事業特別会計

人件費による12万円の増額と予備費12万円の減額。

平成27年

1月会議

(1月16日開会)

町から提出の議案1件を原案通り可決しました。

「主な議案の審議内容」

条例の一部改正

○洞爺湖町国民健康保険税率の一部改正

保険税率、課税限度額の改正。



農業振興策の充実と 地方創生法案への取り組みは

大 西 智（侑志会）

質問 1

農業振興策について

問 町政執行方針で、示されている農業振興策の達成率は、どのようになっているのか。

答 まちづくり総合計画での達成率は、継続事業として、グローバルギャップ維持事業など、クリーン農業の推進、AC洞爺研修支援事業、農業知識向上勉強会、婚活事業などの農業後継者対策、またエソシカ対策として、鳥獣捕獲員による駆除活動などを実施してきました。新規の事業としては、農道の修繕のために砕石の支援を、実施しました。ただその中で、六次産業化においては、希望者の発掘には、至っておりません。

問 今後の農業振興策をどのように、考えていくのか。

答 まちづくり総合計画を基本に、第8次JAとうや湖の農業振興計画との整合性を図りながら、クリーン農業の推進、農業後継者対策、農

業基盤整備、農業経営の安定対策など各種農業振興策に、取り組みたいと思います。

問 町独自の農業振興策の考えはないのか。

答 AC洞爺、JA青年部が中心に研修や地域活動が積極的に展開され、農業の将来を担う人材として期待が高まっており農業知識向上勉強会の開催、研修活動等に対する支援をしたいと思っています。

また、新規就農希望者に農業経営を継承する事業を進めております。土壌分析数値を基に圃場別のデータベース化を進め適切な営農指導ができると思っています。

これらを含め、JAとうや湖、西胆振農業改良普及センターとの連携を密にしながら農業振興策を進めていきたいと思っています。

質問 2

洞爺地区の

振興策について

問 洞爺地区振興策検討委員会で最終提言が示された

が、今後の町の進め方は。

答 洞爺地区振興策庁内推進検討委員会を設置し、洞爺高校跡地の利活用の方角性を、確認し今後のタイムスケジュール等について、協議しているところです。平成27年度実施計画については、予算反映できるよう町づくり審議会での審議、議会等への説明や必要に応じて住民説明会を開催して、ご理解を得たいと考えています。平成28年度以降は、まちづくり総合計画の変更をふくめ、財政面、経済効果、優先すべき事業を考え洞爺地区の将来につながる、賑わいのある、施策の展開と総合的な方向性を見い出していきたいと思っています。

質問 3

地方創生関連法案の町の取り組みについて

問 地方版総合戦略づくりに取り組む時期と町の施策の方針は。

答 2060年までの人口ビジョンを作成しながら創

生総合戦略を考えています。

将来像を見据えた地域振興策を各課から提案をだして、子供を産み育てる環境整備、洞爺湖町の強みを生かした産業と雇用の場づくり、住み続けたいと思える生活環境の整備など早急にスケジュールを提案していきます。

問 人材派遣制度の日本版シティーマネージャー制度の導入の考えは。

答 厳しい状況ではあるが、新しい風、優秀な人材でまち起こしに寄与していただけるような方を受け入れたいと考えています。



洞爺高校

通行止めの町道財田早月線 町は不要と考えているのか

七戸輝彦（公明党）



質問 1

10・4防災講演と、今後の取り組みについて

問 10月4日群馬大学大学院教授・片田敏孝教授による防災講演が開催された。結集状況を伺いたい。

答 一般聴衆者115名、役場・消防関係者135名、合計250名の参加となっています。

問 片田先生の講演を心待ちにしていた一人として、講演を聞いて町長は、どのような感想を持たれたのかお聞かせ下さい。

答 まずは災害に遭う前に避難する事が一番肝要なことだと思っています。避難した後から次の新しい対策―例えば、食事、風呂、着る物等避難生活の対策が始まると考えています。いつ家に帰れるのかという話は命あつてのもの種だと思っています。

問 この講演を契機として、見直す防災体制はあるか。

また、今後の防災に生かす点は何か。

答 片田先生の講演を聞いて、改めて防災訓練の必要性を感じたところです。今後も引き続き、噴火や津波などに対する避難訓練を行っていくと共に、災害弱者といわれる避難行動要支援者の避難訓練も同時に行つて参りたいと考えています。自助、共助の中で地域の方々が命を守ることが出来る自主防災組織の確立を、行政と地域が協力し合い、立ち上げていくよう努力して参ります。



群馬大学片田敏孝教授の講演

問 講演の中で上映されたDVDを、学校等で見る事は出来ないか。

答 著作権等の問題もあると思いますが、可能であれば学校にお伝えして参りたいと思います。

質問 2

硬水対策工事と、三豊トンネルについて

問 硬水対策工事の後、本町側の水道水はどのように改善されるのか。

答 12月24日より、本町地区に新たな水道水を配水します。数値では、硬度が250mg／リットルから35mg／リットルに、蒸発残留物も410mg／リットルから87mg／リットルへと大幅に減少します。これは、厚生労働省の諮問機関がまとめた「おいしい水の水质要件」の範囲内となり、やわらかくおいしい水になると言えます。

問 工事と直接関係ないかもしれないが、三豊トンネルでかすかに異臭がするという話がある。関係はどうか。

答 硬水改善工事の影響ではありませんが、下水道管の腐食調査の為、数時間マンホールを開けた事があり、それが原因の一つかもしれない。

質問 3

財田、早月間の土砂崩れ現場の現況について

問 町道財田早月線が使われてきた歴史的経緯は。

答 財田早月間については、土砂崩れにより、平成23年7月から通行止めとしております。以前、早月地区に道内屈指の金鉱山があり、この道路を通り、大正14年頃には約500人が働いていたという記録があります。

問 町はこの道路を不要なものと考えているのか。

答 不要であるという認識はありません。3年前の試算で復旧には2億4千万円かかるかとされており、すぐに取り掛かるという事にはなりません。が、有利な事業方法等を模索し、検討して参ります。



食糧とエネルギーの町内経済循環型社会 スマートタウンの建設を

佐々木 良一（侑志会）

質問 1

まちづくり総合計画と
地方創生について

問 地方創生に対する町長の受けとめ方を伺います。

答 私共の町の特長を生かした産業・観光・農業・漁業を伸ばし、ジオパーク認定第一号として地域活性化につなげていきます。

問 地方創生と町づくり第二期計画の体制づくりは。

答 プロジェクトチームを作り検討していきます。また、まちづくり審議会とも協議していきます。

問 戦略策定は住民参加が必要です。商工会の地域活性化の提言、洞爺地域振興策協議会からの提言と併せて議論を進めていく必要があるのでは。

答 商工会や洞爺地区の提言を機会あるごとにまちづくり審議会と話をしながら進めます。

問 子育て世代・若者の定着、雇用の充実等、その立場

にある若い世代の意見が大切と思う。まちづくり審議会に専門部会の設置が必要と思うが。

答 専門部会を設けるか、部門関係者から意見を聞いていくか三月までまちづくり審議会と検討して決めます。

問 計画作りにあたり、担当課に専門知識をもった民間人の活用を考えは。

答 町内の人材も含めて、専門知識を持った人材を検討している所です。

問 職員の資質向上、意欲を高めることも必要。職員のアイディアを評価する体制、職員評価が大切では。

答 管理職の人事評価本格実施に伴い、昇給、勤勉手当等での判断を来年度を目指し実施したいと思っています。

問 町長就任二期目で、洞爺湖町らしさを出す、地方創生でぜひともやりたいことは。

答 エネルギー再生産業で温泉採掘が成功し、これの二次利用を柱とし、世界ジオパーク認定をいかけた火山と

の共生を世界にアピールしていきます。

農業・漁業・観光産業も一つ一つ積み重ねをしながら地域活性化につなげていきます。

問 地方創生の大きな流れとして「エネルギーの自給」、「農林水産業の6次産業化」が二つの柱です。6次産業化についてその後の進展は。

答 業種との連携、品目について検討を進めています。具体的なところまで進んでいない状況です。



問 地場産品をどう町内循環させていくか、地産地消はある程度加工しない限り進まない。二次、三次加工を含めニーズ調査が必要と思うが。

答 各ホテル事業者等にニーズ調査を行いながら、取り組める内容を進めます。

※ 6次産業化とは

農林漁業者による生産・加工・販売の一体化や、農林水産業と第2次・第3次産業の融合を通じて、農山漁村に由来する農林水産物、バイオマスや農山漁村の風景、そこに住む人の経験・知恵に至るあらゆる「地域資源」を活用し、新たな地域ビジネスの展開や新たな業態の創出といった新たな取り組みを通じて、付加価値のより多くの部分を農山漁村地域に帰属させ、地域内に雇用と所得を確保すること。

問 食糧とエネルギーを町内で回す、町内経済循環型の地域社会をつくるのが、今回の地域創生の命題と思う。スマートタウンの建設を望みます。

答 ジオピザも含め農産物の利用研究を重ねます。また、温泉熱の利用、6次産業化の対策をしていきます。

結婚祝い金の創設を！

沼田松夫（一机会）



質問 1

町内で宅地開発された団地内の町道の管理について

問 町に移管された団地内の町道が特に冬期間は凍上して大変危険な個所があるが、どんな認識でいるのか。

答 旧虻田町の時のバブル時代に造成された団地は8か所あり、冬の凍上や側溝周りが折れたり、傷みやすいことがあつて随時パトロールの中で、気が付いたり、あるいは町民から通報があれば、随時直しています。

いろいろ悪い所もありますので、出来れば計画的にやりたいと考えているが、再度現場を確認しながら、特に緊急性を要するところから対応します。

問 路肩が永年雑草が生え、そこに砂が堆積し土手状に大雨や融雪時など水たまりが出来、通行者が大変だ。路肩の土砂など取り除くことが出来ないか。

答 町道泉入江線の事かと認識しています。2・7キロあり、ご近所の方からも相談を受けています。技術的には可能ですが、延長が長いので、途中で水切り施設を敷設したり、低い所をオーバーレイする様な対策が効果的と考えています。内容によっては、工事、予算も伴いますので、内部で協議して、このような障害が町の皆さんにご迷惑かけないように、出来るだけ直ぐ対応します。

質問 2

地域活性化について

問 洞爺湖町商工会・地域活性化委員会からの提言や洞爺地区から相次いで出されたがどのように実現するのか。提言の中の1つ、「秋の大収穫祭」などは既に3回実施したものもありますが、内容が子育て・教育・環境・産業・雇用と多岐にわたっています。今後庁内で十分に精査して検討委員会を組織し、早急に取り組めるもの、時間

をかけて検討するものなど、検討してまいります。

問 旧花和小学校の利用策は考えているのか。

答 昭和62年完成し、平成19年廃校され7年が経った。避難所に指定しているが公共施設としての利活用の計画はありません。

問 提言の中で、「出産祝い金」の提案がされているが、その前に「結婚祝い金」制度を考えてはどうか？

答 今後、提案書を検討する中で、「出産祝い金」とあわせて支援が可能か検討します。

質問 3

新しく運行したバス制度について

問 新しい制度で運行してみてもどのような評価を受けて



ているのか、苦情などはないのか。

答 10月1日から、新たな地域の公共交通として再編して運行しています。再編に際しては、町民へのアンケート調査、乗降調査により、利用状況の把握、ニーズの把握により、利便性の向上と利用者拡大に向けた運行体制を考えました。運行時間やルートの変更などで乗車時間がこれまでより不便になったというお話もありますが、これまで空白地域からの利用者からは利用が出来るようになったことから評価を受けている面もあります。また、虻田地区のコミュニティバスでは苦情はありません。





社会保障・税番号制度 の理解を深めよう

松井保明（侑志会）

質問 1

社会保障・税番号制度について

問 町としての所見と基本的な考えは。

答 住民票とは別にこの法律を深く理解し認識をした上で法定受託をうけなければならぬと思います。

問 庁舎内の体制はどうあるべきか。

答 現時点では、現状のままの体制で各課総合的に連携して推進して参ります。

問 地方公共団体情報システム機構（機構）への委託また広域連合の電算センターへの参入の考えは。

答 27年度10月から配布される通知カードの作成、発送業務について、機構が実施します。当町としては経費の節減、セキュリティ、運用の安定などを考慮して、この機構に加入します。

問 個人番号カードの利便性の向上としての施策はどのように考えるか。

答 番号法第9条第2項で市町村の独自条例を制定することにより独自の事業に活用できることになっています。例えば図書カード、印鑑登録証等が考えられます。現段階では、法令に基づいた事務を実施し、その後、利便性や費用対効果等、独自の事務についても検討したいと考えます。

問 民間企業の協力を求める方策は。

答 公共機関の事務作業の効率化につながるので番号制度の周知、説明については国が実施します。さらに町としてもホームページを活用して周知を図って参ります。

問 住民の理解と協力を得るための対応策は。

答 国により様々な広報活動が行われますが、町としても広報を通じて、この制度を分かりやすい内容でお伝えできるよう努めます。国では、平成26年10月1日から「マイナンバーコールセンター」を開設し、問い合わせに対応しています。



問 個人情報の保護に対する施策はどうか。

答 社会保障、税番号制度には2つの保護措置があります。制度面として、①番号制度で取り扱う情報については、番号法や条例で定められた情報に限定されます。②第3者機関による点では、特定個人情報保護委員会による監視・監督により情報が保護されます。また、個人情報保護法よりも厳しい罰則規定の内容になっております。

社会保障・税番号制度の導入趣旨

番号制度は、複数の機関に存在する個人の情報を同一人の情報であるということの確認を行うための基盤であり、社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤（インフラ）である。

ご不明な点はマイナンバーコールセンター 電話番号0570-200178

受付時間 平日9時30分～17時30分（土日祝日除く）

平成27年10月マイナンバー付番通知、平成28年1月からマイナンバー利用開始に向け準備を進めております。



介護の負担一層深刻に 介護保険料1ヶ月 4600円

立野 広 志



質問 1

保険料の大幅引き上げが想定される、第6期介護保険事業計画について

問 第6期の介護保険サービスの見込量は。

答 訪問介護やデイサービスなどの通所介護の利用がふえており、第6期計画に盛り込んでいきます。

問 「老々介護」や「若年介護」の支援を計画に盛り込むべきではないか。

答 地域ケア会議等でご意見等伺い、支援対策を考えていきます。

問 15年8月から、介護利用料の2割負担、補足給付の縮小・打ち切りが行われ、一層サービスが受けにくくなるのではないか。

答 2割負担対象者は、現在171名(24%)ですが、独自の軽減対策はありません。

問 特養入所要件が要介護3以上となり、介護難民が

増える恐れがあるが、入所待機者の状況は。

答 待機者は43名、そのうち要介護1・2の方は13名です。

問 人間らしい高齢者の尊厳を確立するため、家族介護支援システムを条例化すべきではないか。

答 今後、十二分に考えていきます。

問 第6期の介護保険料の見込み額と、保険料高騰を抑える対策については。

答 介護給付費支払準備基金の取り崩しなど行い、4600円(一ヶ月)前後の保険料となる見込みです。道の財政安定化基金の活用も要望していきます。

質問 2

中小企業の従業員退職金共済掛金の補助の実施について

問 制度の周知と事業者への加入促進を図り、町が掛金の一部を補助する考えはないか。

答 町内の商工関係、または旅館組合等々とも、今後十分協議をし、調査・研究をしていきます。

質問 3

これまでの議会で答弁した課題の進捗状況について

問 後期高齢者医療制度の特例軽減措置の段階的廃止に対する対応は。

答 広域連合等を通じ、国による負担軽減を図るよう要望しています。

問 中学卒業までの医療費助成拡充については。

答 所得制限や自己負担のない方向で、中学生までの通院・入院費用を助成したいと検討しています。

問 要保護世帯、準要保護世帯の就学準備金の年度前(3月)支給については。

答 新年度からは、4月に支給する考えです。3月支給については今後さらに検討します。



問 視覚障害者への地デジラジオ無償支給の状況は。

答 身体障害者手帳を所持している視覚障害、1級から6級までの方は37名おりますが、これまで地デジラジオの給付を受けられた実績はありません。今後、対象者の方々に早急に制度の周知を図ってまいります。

問 福祉避難所の整備と地域防災組織の立ち上げについて。

答 病院、社会福祉施設、旅館組合などと災害時における協定の締結を年度内に結ぶ予定です。

自主防災組織の立ち上げについては、自治会単位で、防災体制の確立に向けて、機会があるごとに説明し、また町としても協力をしていきたいと考えています。



開湯100年を 万全の準備で

板垣正人（公明党）

質問 1

観光振興策について

問 平成28年度に開湯100年を迎える。記念イベント等の準備を今から進めるべきと思うが町の考えは。

答 開湯100年を迎えるにあたり、未来へ夢のある洞爺湖の姿を提案することを目指すに、仮称ではございますが、洞爺湖温泉開湯100年記念事業組織委員会を12月26日に1回目の会合を開いてこの記念事業への取り組み内容等について、協議することになっていきます。また、町としてもこの記念事業の内容等が、固まり次第、行政の範囲の中で支援をしていきたいと考えています。

問 新しい源泉の利用を町民にも還元すべきと思うが町の考えは。

答 地域住民の方々にも新たな源泉の良いところなどをPRしながら、利用していただけるような部分については、今後、関係機関等を含め

て町民への還元の仕方などを協議していきたいと考えています。

問 新しくできた源泉を観光スポットにするべきと思うが町の考えは。

答 1つの観光スポットになりえるだろうと考えています。周辺の整備、外構整備を実施する予定でありますので、これらの環境整備も含めて取り組んでいきます。



地熱利用施設

質問 2

地域ポイント制度について

問 町が実施するボランティアや健康増進事業への参加、また、健康診断等を受けられた方々を対象にポイント制にして還元すべきと思うが町の考えは。

答 町では1年を通じて、かず多くのイベントが行われています。これらのイベントには、多くのボランティアの方々との協力を頂いており、非常に感謝しておりますが、協力者の方々は高齢化や固定化しているのが現状です。また、特定健診、ガン検診等の受診率も思うように伸びていないのが現状です。安定的なイベント等の運営、またはボランティア等の安定的な確保、健康診断につきましても更なる受診者増対策が必要と考えています。ポイント制度実施に向けて進める場合の課題もあります。現在実施している他自治体の評価、町内のこ

れまでの実施事業も検討しながら、町として調査研究を進めていきます。

■ 質問などは要約されています ■

議会だよりは、スペースの都合から質問・答弁の全文を掲載することができないため内容を要約して載せています。詳しくお知りになりたい方は、あぶた・みずうみ読書の家、洞爺総合センターに会議録がおりますので、どうぞご覧下さい。

また、インターネットで議会中継も行っていますので、洞爺湖町議会ホームページからご覧下さい。



お問合せ 議会事務局 ☎0142-74-3011

地域の活性化は 今ある資源の有効活用で！

岡崎 訓（町民連合）



質問 1

活力ある地域づくりに
ついて

問 財田地区の遊歩道の建設後の管理状況はどうか。

答 滞在型利用拠点として、環境省と連携を図り湖畔遊歩道キャンプ場、スポーツ交流館、多目的運動広場等の整備をしてまいりました。

今年度、木の橋の7ヶ所の工事、野鳥観察小屋の改修が終了しました。草刈り等の管理はキャンプ場とあわせて実施をしております。

問 開拓当時を感じさせる遊歩道の利活用で地域の活性化につなげる考えは、どうか。

答 洞爺湖有珠山ジオパークでもフットパスコースや、洞爺ウオーキングマップで親水公園、水辺の森をコースとして紹介をいただいております。

また、財田地区自然体験ハウスでは、ガイドウォーク、四季の自然観察会などの開催

をいただいております。関係団体と連携を図って活性化に取り組んでまいります。

問 ジオパーク事業の内容は。

答 ジオパークを知ってもらう事業として、本町地区をはじめ50名に洞爺地区を歩き、めぐる、学ぶ、食べるを、大目標とし専門家やガイドの皆さんに協力をいただいております。

また、二月には冬のモニターツアーの実施の計画をしております。

サミット館においては、日本ジオパークの35の地域の食材の展示に、財田米を展示をし、食文化もあわせてPRを関係課と連携をして進めております。

問 有効活用すべき財田キャンプ場内のサッカー場の現状と管理はどうか。

答 平成13年度、多目的運動広場として整備され、その後平成22年度にサッカー場が併設されました。サッカー場の利用については初年度に2282名、その後も、一千

名台の利用となっています。



質問 2

安心、安全なまちづくりに
ついて

問 振り込め詐欺等の町内の被害の実態はどうか。

答 町民の相談件数は、平成22年度から26年度までで89件で悪質な商法が多く含まれており、伊達警察署管内で7件、3千8百万円の被害があり、当町に1件被害がございます。

問 洞爺地区では、幸いに周りの人の配慮により被害を未然に防ぐことができたが、町として今後の対策をどのように考えているか。

答 高齢者にすぐに振り込まない、振り込む前に家族や警察に相談することを町広報などで情報提供を、さらに行ってまいります。

また、金融機関と連携を図り未然防止対策を講じてまいります。



平成27年度

事業執行について問う

篠原

功（侑志会）

質問 1

平成27年度事業執行について問う

問 平成27年度事業の再需要課題は。

答 地方防災力の強化を最重要課題として考えています。ハード面では、防災行政無線のデジタル化整備、西胆振消防組合、伊達消防署、洞爺出張所の新築等です。また、住宅リフォーム事業、洞爺湖プレゼント活性化事業、観光・農業・漁業・商工業振興対策にも取り組みます。さらに福祉対策として脳ドック健診、子どもインフルエンザ予防接種の助成、乳幼児医療制度の拡大を検討しています。

問 合併10年を1年後にひかえ、総括すべき年となるが、洞爺湖町となつて、今年度まで達成できた事、また出来なかつた事、積み残した事などはあるか。

答 平成18年3月に合併し、旧虻田町・旧洞爺村合併協議会において、洞爺湖町ま

ちづくり総合計画が策定され、主要事業が実施されてきました。実施計画として主要事業、重点事業、その他で350件ほど、ほとんどの事業に取り組んでいます。現在まちづくり審議会において実施計画の検証をしております。

問 27年度中に合併の成果を取りまとめ、町民に提示すべきと思うが。

答 平成29年度から始まる第2期まちづくり総合計画をさくせいするにあたり、審議会において過去8年間の事業内容を精査し、町民から意見を伺う機会を設け、27年度中に提示したいと考えます。

問 合併10年を機に箱根町や三豊市との交流事業を（民間を含めて）積極的に進める考えは。

答 箱根町との50周年記念事業、式典では、箱根町からマンガアニメフェスタの参加、当町から箱根の芦ノ湖での5連発花火の参加などしました。相互交流事業の企画検討したいと思います。三豊市との交流では、昭和50年に姉

妹提携を結び今年で39年を迎えます。小学生を対象にしたフレンドリー交流、三豊市特産のタケノコや唐辛子を道の駅、水の駅で販売し友好都市を身近に感じて頂いてます。人事交流では、小学生・中学生・自治会の交流を継続的に実施します。防災協定を結んでいますので、人事の交流は、交流に出せる人材をしっかりと育てて参りたいです。



問 町として「東京あぶた・とうや湖会」や「札幌と

うや湖会」の活性化や会員拡大の協力は考えられないか。本町地区出身だけでなく、洞爺地区、温泉地区も含め町が一つになり、ふる里のことを思う、町を応援してくれる人達の参加を募るべきだと思うが。

答 札幌とうや湖会は、昭和26年から開催され、昨年は60回の記念総会でした。3年ほど前から、送迎バスの運行を始めております。また、東京あぶた・とうや湖会は、今年40回の記念すべき年です。ツアーの企画や参加される方への一部経費負担なども検討し、町広報誌やホームページを活用して周知に努めます。また、両会とも会員の方々がだんだん高齢化して、限られた人が出てくる状況がここ数年続き、会の縮小になっていると思います。個人情報取り扱いに十分留意し、都市部で頑張っている当町出身者の紹介など会の事務局さんと協議して会員の拡大に努力したいと考えます。

救急車の増車配備を

越前谷 邦夫（一机会）



質問 1

平成27年度

予算編成について

問 予算編成に対する政治理念と町民参加型をめざしての基本姿勢を伺う。

答 町政をあくまでも住民として、地域が豊かになり、住んでよかったと思えるまちづくり、未来を担う子供たちへ安全な地域社会を提供することを町政運営の柱にしなければならぬと思っております。

私どもの町は今、まちづくり審議会、行財政改革審議会と商工会の地域活性化特別委員会、洞爺振興策検討委員会から提言・意見をいただいております。町政に反映できるシステムづくりが必要だと深く肝に銘じております。

問 重点施策のハード面・ソフト面、特に人口減対策と予算措置について。

答 ハード面は、防災行政無線・デジタル化整備事業、西胆振消防組合伊達消防署洞爺出張所整備、消防無線デジ



タル化及び指令台の整備、町道整備、街路事業、漁港整備事業、虻田中学校校舎・体育館耐震化事業、入江貝塚整備事業。ソフト面は、人口減少対策強化で婚活事業、チャレンジジョップ事業、定住促進住宅の整備、地域おこし協力隊事業です。

問 国の地方創生はやる気のある自治体に交付税を増額することだが、洞爺湖町のやる気のある政策、企画状況を伺う。

答 地方創生の柱は、自然豊かな洞爺湖を有しており、世界ジオパークに初めて認定された地域なので、温泉熱を利用した地域活性化を目指してまいります。

質問 2

漁業振興について

問 漁業戸数は年々減少傾向にある。その要因は。

答 平成15年度50世帯、平成26年度38世帯、漁師の方

々もホタテ漁業を続けていくのは難しい環境にある方が結構いると聞いていますので、ホタテに代わるものを育てていかなければならないと思っています。

問 漁業者の要望等の課題を精査し振興策を促進させるべきと思うが。

答 ザラボヤにつきましては、水産技術普及指導所で調査等行っております。

問 ナマコ、ウニ、アワビ、海藻類等の漁獲対策を強化すべきと思うが。

答 ホタテ養殖は限られた方だけに将来的に絞られてしまっているので水産対策、漁業対策、磯周りが大事だと思っております。ご提案の海底調査は、十分検討し施策について漁協、関係機関と十分協議し

ながらとり進めてまいりたいと考えております。

質問 3

西胆振消防組合・伊達消防署・洞爺出張所の新築について

問 生命の尊厳を重責に思い、救急車を配備できないものか。計画の中で検討、協議を深めた経緯があるか。

答 一人の命、大切です。産まれて亡くなるまで地域で守っていかねばなりません。救急車の配備は論議した経緯があります。広域連携で消防事業を推進しております。



委員会活動レポート

総務常任委員会

■調査事項

町内小中学校の適正配置に関わる行政の対応と地域住民の意向について

◆調査日

11月6日(木)

◆調査の概要

(1)調査の目的

「洞爺湖町の小中学校における子供と学校のあり方検討委員会」から、今後の児童生徒数の推計を見据え、平成25年1月に適正配置を検討する際の目安となる基準の提言があ

った。

平成26年9月、教育委員会は、「洞爺湖町内小中学校の適正配置に関わる素案」を取りまとめ、保護者や地域住民との協議を行い、一定の結論を得るようとり進めることとした。

(2)適正配置に関する検討の進捗状況について

教育委員会は10月15・16日に、温泉中学校と温泉小学校の保護者等との懇談会を行った。

その結果次の2点について、参加者全員で確認した。

①温泉中学校を虻田中学校に統合する。

②統合時期は、平成28年4月とする。

(3)今後の進め方について

①温泉中学校の虻田中学校への統合に理解を得たことから、懇談会で出された要望の検討結果を持って、再度懇談会を実施する。

②懇談会終了後、温泉地区・月浦地区・花和地区との懇談会を実施し、12月中に一定の結論を出す。

◆総務常任委員会の意見

・提言を受けてから教育委員が保護者や地域に説明し、意見を伺うまでに2年近く経ち、迅速な対応が欠けていた。

・保護者や地域住民には、生徒数の減少による教育環境の低下や、将来の地域のあり方に懸念しているので、真剣で迅速な対応が望まれる。

・花和地区の通学区域等については、生徒や保護者の意向に十分配慮した対応が望まれる。



経済常任委員会

■調査事項

町道成香15号線の伏見橋の崩落について

◆調査日

11月11日(火)

◆調査結果

施設概要

①路線名・橋梁名 成香15号線・伏見橋

②橋長 49・50 m

③全幅員 8・20 m

④架設年 平成10年

平成26年11月7日に住民の通報により、橋が崩落していることがわかったものであり、幸い人や車両が転落するなど被害はなかったが、今後、原因の調査と復旧に向けた作業に取り組むことになると思われるが、早急に原因を調査し復旧を進めることと、随時進捗状況などを報告するよう要請を行った。

■調査事項

NPO法人洞爺まちづくり観光協会の現況と課題について

◆調査日

11月25日(火)

◆調査結果

平成26年4月から10月までの水の駅の入館者数は16万5千人で、過去5年間の入館者数を大きく上回っているものの、特産物などの販売は伸び悩んでおり、町外客へのPRに力を入れているところである。現在、とうやタウンマップの作成を進めており、日本語版と英語版の2種類1万5千部を予定している。

Aコープ洞爺店の閉店に伴い、地元の高齢者が野菜などを買いに来ており、地元の人達のために品物を増やしたいところであるが、当協会の経営状況も大変厳しく、これ以上経費をかけることができないことから住民の方々の期待に沿うことができない状態である。

水の駅においては、駐車場や出入口などの白線の補修、多目的ホールの暖房の改善と床の観光マップの更新や、各公園にある木製の通路などの補修、キャンプ場トイレの蛇口修繕などの要望が出され、

町としても検討されたい。



■調査事項

ＪＡとうや湖の現況と課題について

◆調査日

11月25日（火）

◆調査結果

平成25年のＪＡとうや湖の全体販売高における洞爺湖町の販売高は、青果指導販売課で69・8％、農産指導販売課で51・2％、畜産指導販売課で13・8％となっている。

平成26年の農作物の生育及び収穫状況については、水稻が平年よりやや良、豆類が平年並みからやや不良、馬鈴薯は平年並み、根菜類は平年並みからやや不良、葉物は平年並みとなっている。畜産に関

しては、和牛の頭数は減ってきているが単価高であり、豚肉も頭数は変わらないが単価が上がっている。

クリーン農業については、多くの農家が生産物の安全安心な提供に取組んでおり、第三者認証（ＹＥＳ！ｃｌｅａｎ）クリーン農業認証農家150戸、エコファーマー認定農業者57戸）を取得し、その取組みを拡大している。

クリーン農業と廃プラ対策に対し町から支援を受けているが、大変重要な取組みでもあることから、現在の取組みを続けていけるように平成27年度以降も引き続き支援をお願いしたいとの要望が出され、町としても検討されたい。



●調査事項

一般社団法人洞爺湖温泉観光協会の現況と課題について

◆調査日

11月27日（木）

◆調査結果

平成26年度10月末の観光客の入込み状況は前年度並みの状況であるが、本年度の繁忙期（4月～9月）における宿泊者数は前年度より4千人ほど増加している。宿泊客においては、日本人客が減少しているものの外国人客が増えている。来年度以降も増加すると見込んでいる。外国人観光客については、台湾からの観光客が最も多く、次いで中国、韓国、香港、タイとなっており、円安などが大きく影響しているものであり、冬期間においても期待できるとの説明があった。

また、道路運送法に基づく貸切バス料金等の制度改正が、長距離バスの運行に影響を与えており、千歳空港を中心として増えている観光客が、札幌、登別、洞爺湖に集中している傾向があり期待している。

再来年の新青森、新函館北

斗間の新幹線開業に伴い、北関東を中心に旅客誘致のＰＲ活動を行っているところであるが、新函館北斗から洞爺湖温泉までの交通手段の確保が課題となっている。

外国人観光客の増加などに伴い、洞爺湖温泉街にＷｉ－Ｆｉの整備を進めており、多国語により温泉街の情報と災害時の情報をスマートフォンで簡易に取得できるものとし、観光客の安全と利便性に取組んでいる。

洞爺湖温泉街の宿泊施設においては、ＪＲだけでは集客が図れないことから観光バスの運行も大きいものであるが、道路交通法に基づく貸切バス料金等の制度改正に伴う運行経費の高騰が予想されていることから、その対策に苦慮しているところである。委員からは、函館、札幌間で運行している高速バスについて、洞爺湖町泉の旧インターチェンジにおけるバス停の設置整備ができないかとの意見もだされ、観光協会においては、町と協力し調査検討していくことと

なった。

観光協会においては、今後も国内外に対し洞爺湖温泉のＰＲと旅客誘致に力を入れて取組んでいきたいとしており、引き続き町における支援と連携をお願いしたいとの要望があった。



町民と議員との 懇談会開催

平成26年11月18日・19日の2日間、洞爺・温泉・本町地区の3会場で、町民と議員との懇談会を開催しました。

懇談会には、23名の方が参加し、活発な意見交換が行われました。議会では、出された意見や質問を整理・検討し、町に対して申し入れを行い、改善と対策を求めています。

●環境対策

- ・洞爺湖観光情報センターの玄関前や、駐車場の清掃が悪い。駐車場にはタバコの吸い殻やゴミがいつばいある。
- ・洞爺湖温泉にある公園のトイレの駐車場に、相当ゴミがおちているが清掃がされていない。

●交通安全対策

- ・街路灯のLED化の推進により、電力使用を削減するなどの事業を検討してほしい。

- ・町道に樹木の枝がかぶさってきている箇所があり、道路が木の枝で見えないところがあるのですねとかしてほしい。
- ・国道から下りてくる道道の栄町の丁字路について、交通量も多いことから公安委員会指定の正式な一時停止の標識を設置してほしい。

●施設管理

- ・洞爺湖観光情報センターの入口、玄関とスロープ部分の排雪が悪い。スロープの手摺りが設置されているところに排雪したり、凍結して滑り易くなっている箇所もあるので危険であることから改善を。

●空き家対策

- ・チャレンジショップ事業をもっと推進してほしい。

●災害対策

- ・津波避難訓練について、実施

するのであれば町全体で実施すべきである。様々な状況が考えられることから、全町民が、避難について知っておく必要がある。

●健康診断

- ・町が実施している脳ドックについて、募集の方法に問題があるので改善をお願いしたい。

この他にも、議会や町政に対する貴重なご意見、ご要望をいただきました。



議会のうぶき



11月											
6日	3日	11日	8日	10日	12日	13日	17日	18日	19日	21日	25日
洞爺湖町表彰式 総務常任委員会所管事務調査（学校の適正配置）	洞爺湖町表彰式 総務常任委員会所管事務調査（学校の適正配置）	会派代表者会議 経済常任委員会所管事務調査（伏見橋）	会派代表者会議 経済常任委員会所管事務調査（伏見橋）	会派代表者会議 経済常任委員会所管事務調査（伏見橋）	第58回町議会議長全大会	正副議長・委員長会議 財務行政懇話会	町民と議員との懇談会 全員協議会	例月出納検査・随時監査	経済常任委員会所管事務調査（NPO法人洞爺まちづくり観光協会、JAとうや湖）	経済常任委員会所管事務調査（一般社団法人洞爺湖温泉観光協会）	総務常任委員会所管事務調査（一般社団法人洞爺湖温泉観光協会）
6日	3日	11日	8日	10日	12日	13日	17日	18日	19日	21日	25日
洞爺湖町自治会連合会研修会	洞爺湖町自治会連合会研修会	洞爺湖町自治会連合会研修会	洞爺湖町自治会連合会研修会	洞爺湖町自治会連合会研修会	洞爺湖町自治会連合会研修会	洞爺湖町自治会連合会研修会	洞爺湖町自治会連合会研修会	洞爺湖町自治会連合会研修会	洞爺湖町自治会連合会研修会	洞爺湖町自治会連合会研修会	洞爺湖町自治会連合会研修会
27日	26日	23日	22日	20日	19日	16日	14日	11日	8日	6日	5日
洞爺湖温泉利用協同組合新年恒例会	洞爺湖温泉利用協同組合新年恒例会	洞爺湖温泉利用協同組合新年恒例会	洞爺湖温泉利用協同組合新年恒例会	洞爺湖温泉利用協同組合新年恒例会	洞爺湖温泉利用協同組合新年恒例会	洞爺湖温泉利用協同組合新年恒例会	洞爺湖温泉利用協同組合新年恒例会	洞爺湖温泉利用協同組合新年恒例会	洞爺湖温泉利用協同組合新年恒例会	洞爺湖温泉利用協同組合新年恒例会	洞爺湖温泉利用協同組合新年恒例会

東京あぶた・ とうや湖会報告

第39回東京あぶた・とうや湖会の総会、懇親会が昨年11月9日、銀座サッポロビールライオンで開催され議会の代表として出席しました。

当日は、あいにくの小雨日和でしたが、東京や関東周辺から、虻田本町や洞爺湖温泉などの出身者と当町にゆかりのある方々、来賓など50名を超える参加者が集い盛大に開催されました。

総会は篠原博会長のあいさつで始まり、これまでの会の活動やふる里洞爺湖町とのかわり合い、会員の近況など話された後、議事に入り、事業報告と決算、今後の活動方針など提案され、満場一致で決議されました。

懇親会では、真屋町長の来賓祝辞、洞爺湖町からの参加者、また、中央で活躍されている人達などの紹介、洞爺湖

町の近況報告があり、洞爺湖近隣の名産品販売、お楽しみ抽選会もあって、出席者のそれぞれが想い出話に花が咲き、楽しい和やかなひとときを過ごしました。

会長からは会員の高齢化が年々進み参加者の減少傾向にあり、会員の増強と若返りに支援してほしい旨の話もありました。

来年は40周年記念の節目の年でもあり、開催日は平成27年11月7日（土曜日）に決定しました。「みんなが楽しめるふる里会」にしたいと今から準備をするそうです。地元町の町私達としても、洞爺地区をも含めた全町的な会員の拡大支援や、物心両面に恒る更なる応援の必要性を感じた所です。

（報告者 篠原）

3月会議の日程

3月5日から3月20日までの開催予定です



5日、6日が一般質問、9日が議案審議の予定となっています。

議会を傍聴 してみませんか

簡単な手続きで、どなたでも議会の傍聴ができます。ぜひ、一度傍聴にお越し下さい。

編集後記

議会の様子が分かりますか。

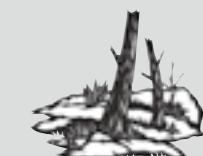
任期中の議会広報も月号を含め2回となりました。町民に開かれた、わかりやすい議会報をめざしてこれまで試行錯誤を繰り返してきました。

内容も議会報らしく、結果だけでなく、議論の経過も伝えるべきだとして、議案や意見書に対する賛否を掲載することにしました。

まだまだ工夫や改善が足りませんが、これからも読みたくなる「議会だより」めざし努力が欠かせません。

（立野）

紙面づくりなど、どうあるべきか、時には紙面の改善のために議員との合意づくりも大事です。



表紙絵のご紹介

今回の議会日より
の表紙絵は、高砂町在住の松本ます子さんの作品です。

